

やぶやぶにゆうす

秋号
保険のコンサルタント
0120-082-313

取扱保険会社
富士火災海上保険(株)
東京海上日動火災保険(株)
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
メットライフ生命保険(株)
オリックス生命保険(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
ALL損害保険(株)など
Chubb損害保険(株)等

編集・発行:(株)大蔵保険コンサルタント(有)やぶライフプランニング〒167-0032 東京都杉並区天沼3丁目2-6 トヨタビル2F TEL.03-3392-6765 FAX.03-3392-6793

「保険金を使える」という住宅修理サービスでのトラブルにご注意!

保険金を使えると勘違いする業者がきてもすぐに修理サービスなどの契約はせずに、まずは、ご加入先の損害保険会社または代理店にご相談ください。なお、トラブルになった場合には、国民生活センターや消費生活センターで相談を受け付けています。

※台風・豪雨・大雪・地震などの自然災害の後にトラブルが多くなります。

トラブル 1 自己負担ゼロを強調

自己負担ゼロ!!

保険金を使えば無料で修理できますよ。

え?保険の支払い対象外...? 全額自己負担なの?!

トラブル 2 強引な契約

保険申請も代行します! 契約書はあとで持ってきますよ。

え、でも...

キャンセル料50%?! 契約書もらっていないよ~!

トラブル 3 うその理由で請求

古くなったところも先日の台風のせいにして、保険金を請求しちゃいましょう!

うその理由で本当に支払われるのかしら?

老朽化による被害は保険支払いの対象外です。

※うその理由による保険金請求は保険金詐欺に該当するおそれがあります。

ストップ!! 住宅修理やリフォームに際し、「保険金を使える」と言って勧誘されたときは、修理サービスなどの契約前にご加入先の損害保険会社または代理店にご相談をお願いいたします。

一般社団法人 日本損害保険協会 SONPO 協力 独立行政法人 国民生活センター

世界中で自然災害からの大型被害が報告されています。日本にも直撃や縦断する台風によるような損害に火災保険が対応しています。

そんな中、保険金詐欺に巻き込まれる事件が多発しています。自然災害による事故で、家屋等に損害が発生した場合は、契約している保険会社または代理店に報告して鑑定人等に調査してもらい損害査定を受けて保険金を支払ってもらうのが基本です。

「保険金を使える」という修理業者とのトラブルにご注意!

「保険金を使える」という修理業者とのトラブルにご注意!

台風・豪雨・大雪さらには地震などの自然災害の後に、住宅修理やリフォーム業者の方が被害者宅を回って「この修理には保険金が適用されません」「保険を使えば自己負担は無し、無料です」と言ってお客様との修理契約をした上で、保険金請求の代理人(委任状をもらう)契約をする手口です。その後、「修理金の全額は保険では出なかった」「この事故は支払い対象外だった」と言って修理金額全額や一部をお客様に請求していきま。床下にもぐったり、屋根に上がって調べてくると大変親切な方々です。

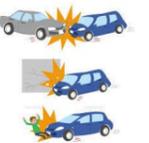
「保険金を使える」

私に任せてください」と言われれば「お願いしません」となるのが人情かもしれませぬ。

強引に契約された後で、保険屋さんに相談したら「保険金代り申請はダメ!ちゃんとして報告して調査しましょう」とアドバイスされたので「キャンセルします」と申し立てても、今度は契約解除なので工事見積り半額を支払って下さいと強引に「古くなって老朽化した損害もこの際、台風のせいにして保険で直しましょう」という嘘の理由による事故を出つちあげ

NEW WORLD
NEWSOLUTION
NEW RISK

ASV割引が導入されます!



2018年1月1日から交通事故軽減効果の大きいAEB(衝突被害軽減ブレーキ)が装備された自動車の場合で所定の条件を満たす時は「ASV割引」として9%割引が開始されます。

AEBが装備された自動車はASVと呼ばれ運転手の安全運転を支援するシステムを搭載した自動車であるとされています。75歳以上の高齢運転手の死亡事故の約7割を占める正面衝突などの事故や人対車両・追突などの事故、ブレーキとアクセルの踏み違いを原因とする事故にも軽減効果が期待されています。

何?AKBではありません!ASVです。ややこしいですね。でも割引が9%です。これは大きい割引です。車検証の車体番号で確認します。この割引は3年です。3年経過した後はリスク軽減効果が型式料率クラスに反映されることによりASV割引はなくなります。

AEBがついているお客様はお気軽にお問合せください。もしかしたらあなたの自動車保険が9%割引になるかもしれません。お客様のお得になるプランをご案内させていただきます。

ASV(先進安全自動車) AEB等の運転者の安全運転を支援するシステムを搭載した自動車をいいます。

AEB(衝突被害軽減ブレーキ) カメラやレーダーなど前方の自動車や歩行者を感知して、衝突するおそれがある場合には音や警告灯などでドライバーに警告してブレーキ操作による衝突回避を促し、さらにブレーキ操作がなく追突避けられないと判断した場合被害を軽減するために自動的にブレーキを作動させるシステムです。

毎回リレー形式で教授と社員がコラムを担当してきましたが今回は来年1月からの導入という緊急性があり皆様にASV割引導入のお知らせに変更させていただきました。大蔵保険は皆様に新しい情報を発信します。次号のコラムをお楽しみに。

被災地は道半ば

そもそも嘘の理由で保険金をもらう行為は保険金詐欺となり、業者だけでなくお客様にも刑事責任が問われるケースもあります。北海道ではわざわざ倉庫等を修繕した後、保険に加入して大雪で倉庫がつぶれて全損したと保険金を請求する例も、とにかく知らない親切な業者には気をつけましょう。契約は認め印でも本人のサインでも有効ですが本人のサインでも有効です。保険請求の際には代理店を必ず通して、業者に任せないでください。(業者の口座が受取人になっていくケースがあります)

住宅修理やリフォームに際して「保険金を使える」と言われた時には必ず保険会社または専門家の代理店にご相談ください。トラブル事例での相談には国民生活センターや消費生活センターでも受け付けています。

今年の夏、常磐自動車道を通って故郷仙台に帰りまして。あの3.11の地震以来始めての常磐自動車道の走行です。福島に入りますと双葉町、浪江町、飯館村、と聞きなれた地名が目に入ります。なにより異様なのは自動車道路に沿っていくつも線量計が常磐自動車道にあることです。線量計の数値は双葉町、浪江町に近づくにつれ上がっていきま。そして周りの景色は田圃だったところが野原に、人が住んでいない家々が、立派な家の庭先に汚染された黒の土のうが百個以上でしいうのか、いくつも並べられているのです。

車も人もいませんでした。トイレ休憩した真新しいインタージェットとなった線量計がありました。車から降りても大丈夫な被爆汚染と津波の被害があつた。被災地の特長でしたが、被災地はさらに深刻です。家も流されずしっかりと建っている。田圃ある。畑がある。一見普通の田園風景ですが、そこは汚染された死の土地でした。復興なんてしてない!まだ被災地は道半ばと痛感させられました。(杉山編集長)

